

令和8年度 東原・東野エルモ 事業計画書

1 今年度の目標

- ・新たに9事業を実施し、地域の課題解決に努める。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	東野学区町民大運動会	(9)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 6 月 7 日	
(2) 実施場所	東野小学校グラウンド	
(3) 参加者数	600 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 東原・東野エルモ	
4 取組内容	地域住民を対象とした町民運動会を開催し、子供から高齢者まで幅広い世代が参加できる種目を中心に構成し、地域内の交流と親睦を深める機会とする。 自治体や地域団体、関係機関等と連携しながら運営を行い、地域全体で協力して実施する体制を構築する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 本地域は転勤世帯が多く、年度初めには新たな住民が増加する特徴がある。そのため、転入者が地域になじむ機会や住民同士の交流に場が不足しがちであり、地域内のつながりの希薄化が課題となっている。こうした状況を踏まえ、住民が気軽に参加し交流できる機会を創出することが求められている。また、ライフスタイルの多様化により、地域活動への参加機会が減少しており、世代を超えた交流や相互理解の促進が求められている。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 住民同士の交流機会の創出と関係性の構築が促進されるとともに、世代間交流の活性化や地域への参加意識の向上が期待される。また、顔の見える関係作りを通じて、地域の連帯感の醸成および災害時における支え合いの基盤形成につながる。	

1 事業名	(仮称) ウォーキング&町なみ探検	(9)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__9年__2月 ~ 令和__9年__3月	
(2) 実施場所	東野学区内	
(3) 参加者数	300 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 東原・東野エルモ・東野学区青少年健全育成連絡協議会	
4 取組内容	地域の町なみや歴史・文化に触れながら歩くウォーキングを実施する。見どころを巡りながら交流を深め、健康づくりと地域の魅力再発見につなげる。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域の歴史や文化への理解を深めるとともに、住民同士の交流を促進し、地域への愛着を高めることを目的とする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 健康づくりへの意識向上に加え、地域資源の再認識による郷土愛の醸成や、住民同士のつながりの強化が期待される。	

1 事業名	クリーン作戦&町内一斉清掃	(9)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 2 月 1 3 日	
(2) 実施場所	東野学区一円	
(3) 参加者数	1 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 東原・東野エルモ・母親クラブ・連合町内会 東野学区公衆衛生推進協議会、東野学区青少年健全育成連絡協議会	
4 取組内容	地域住民が協力し、町内の道路、公園、側溝、共有スペースの清掃活動を行う。清掃範囲をあらかじめ班ごとに分担し、効率的に作業を進めることで、短時間で町内全体の美化を図る。また、高齢者や小さな子供でも参加しやすいよう、無理のない作業内容とする。クリーン作戦は子供たちを対象に、公園や通学路周辺を中心としたゴミ拾い活動を行う。また、安全に楽しんで参加できるよう、事前にゴミの分別や危険性について注意するほか、「たくさん拾えたね」など声掛けを行うなど、達成感や環境意識の向上につながる工夫をする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 町内の環境美化を促進するとともに、地域住民の環境意識の向上を図ることを目的とする。あわせて、子供から高齢者まで幅広い世代が一体となって活動する機会を創出し、地域内の交流を深め、つながりの強化を図る。特に子供に対しては、ゴミ拾い活動を通じて身近な環境への関心を高め自主的に環境を守ろうとする意識の醸成につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 本取り組みにより、町内の環境美化が促進され、快適な生活環境の維持・向上が期待される。また、清掃活動への参加を通じて住民の環境意識が高まり、日常的な美化意識の定着につながる。さらに、子供たちの主体的な参加により環境保全の関心が育まれるとともに、世代間交流の促進や地域コミュニティの活性化、地域への愛着の向上が期待される。	

1 事業名	スポーツフェスタ	(9)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 29 日	
(2) 実施場所	東野小学校	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 東原・東野エルモ・東野学区体育協会・東原百働会	
4 取組内容	地域住民が気軽に参加できるよう、各種スポーツの体験ブースを設置する。各団体が指導者や部員とともに実演・指導を行い、参加者が実際に競技を体験できる機会を提供する。また、体協およびスポーツ少年団の日頃の活動や魅力を発信するとともに、入会案内や相談対応を行う。さらに、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるよう、簡単に参加できるレクリエーションやミニゲーム等も実施し、世代間交流の促進を図る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民が気軽にスポーツに参加し、体を動かす機会を創出するとともに、交流の場を広げることで、住民がスポーツを始めるきっかけを作る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 住民が元気になり、地域活動（体協等）の活性化につながる。また、それぞれが得意なスポーツや興味のある活動に継続的に取り組むようになる。	

1 事業名	東野学区町民スポーツ大会	(9)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月31日	
(2) 実施場所	東野小学校	
(3) 参加者数	__100__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__東野学区体育協会__	
4 取組内容	地域で開催されるスポーツの東野学区町民スポーツ大会(ソフトバレー、ドッチビー、バドミントン)を行う。子どもから高齢者まで幅広い世代の住民が参加しやすい環境づくりに努め、円滑な大会運営を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) スポーツを通じて住民の健康増進を図るとともに、世代を超えた交流の機会を創出し、地域の一体感を高めることを目的とする。あわせて、スポーツ活動や健康への関心を高め、地域団体の参加が増えるなどの活性化のきっかけづくりにつなげることを目的とする (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 健康づくりへの意識向上に加え、住民同士の交流促進や地域コミュニティの活性化が期待される。また、新たな参加者の増加につなげることを期待される。	

1 事業名	社協ふれあい広場	(9)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	東原集会所	
(3) 参加者数	延 1, 0 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 東原百働会、東野学区社会福祉協議会、地域ボランティア	
4 取組内容	地域住民が気軽に参加できる「ふれあい広場」の開催を補助し、シニアサロン、元教師による子ども向け学習支援、保健師による健康相談やカフェの実施など、多世代および病弱者・障害者が参加できる交流の場を提供する。誰もが安心して過ごせる居場所づくりに努める。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民同士のつながりを深めるとともに、学習支援や健康相談を通じて生活の質の向上を図り、安心して暮らせる地域づくりを推進することを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 高齢者の生きがいや介護予防、子どもの学習習慣の定着、健康意識の向上が期待されるとともに、地域コミュニティの活性化やハンデを負った住民の孤立の防止、支え合いの意識の醸成につながる。	

1 事業名	敬老会	(9)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月	
(2) 実施場所	東野公民館	
(3) 参加者数	600 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 東原・東野エルモ、東野社会福祉協議会	
3 取組内容	長寿のお祝いと共に、地域住民同士の多世代の交流を促進することを目的に、東野公民館で祝賀会を開催する。 ・小・中学生の合奏等 ・小学生が作成したしおり等の記念品の贈呈	
4 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・孤立した高齢者に対して地域の支え合いが必要である。 ・地域住民同士の交流の場が少なく、子どもから高齢者までの多世代交流も必要である。 ※中筋学区とも協力しながら事業を行う。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・各種団体が協力して祝賀会を開催することで、高齢者に対する支え合いの大切さを再確認することができる。 ・子どもたちに記念品を作成してもらうことで、高齢者を思いやる気持ちの醸成が図れる。 ・行事運営の安定化と安全性の向上が図られるとともに、学区を超えた交流が深まり、地域全体の一体感の醸成や協力体制の強化が期待される。	

1 事業名	とんどまつり	(9)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年 <u>1</u> 月	
(2) 実施場所	太田川河川敷	
(3) 参加者数	<u>1200</u> 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>東原・東野エルモ・各町内会</u>	
4 取組内容	無病息災を祈願するとんどまつりで、炊き出し訓練や消火訓練等を実施する。 炊き出し訓練で作った豚汁やぜんざいを来場者に提供する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・地域住民の災害に対する意識の希薄さがみられる。 ・消火体験をする機会が少ない。 ・地域文化の継承が必要である。 ※中筋学区とも協力しながら事業を行う。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・炊き出し訓練により、災害時での地域住民の連携・協力体制の大切さを確認できる。 ・来場者が提供された豚汁やぜんざいを食し、災害時に備える食料備蓄の大切さを学ぶ。 ・親子参加を主とした消火体験により、子どもの頃から防災意識を醸成する。 ・子どもたちに、とんどまつりの意義を伝え、伝統文化の大切さを学ぶ。 ・行事運営の安定化と安全性の向上が図られるとともに、学区を超えた交流が深まり、地域全体の一体感の醸成や協力体制の強化が期待される。	

1 事業名	防災・防犯事業	(9)事業中(9)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	東野小学校	
(3) 参加者数	__100__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__東原・東野エルモ・自主防災会・防犯組合・消防団__	
4 取組内容	地域住民を対象に、長期的な計画に基づき講習会および防災訓練を実施する。講習会においては、特に地域住民の関心が高い洪水に関する基礎知識や災害時の対応方法について学ぶ機会を設ける。また、訓練では、災害発生時を想定した避難行動の確認や避難経路の確認を行うとともに、消火器の使用方法や初期消火訓練等、実践的な内容を取り入れる。さらに子どもから高齢者まで幅広い世代が参加しやすい内容とし、地域全体で防災意識の向上を図るとともに、住民同士の連携強化につなげる	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 講習会および防災訓練を実施することにより、災害発生時における適切な行動の習得を図るとともに、住民一人ひとりの防災意識の向上および地域全体の防災力の強化を目的とする。あわせて、防犯に関する意識の向上や見守り意識の醸成を図り、平時からの連携体制の構築および安全・安心な地域づくりを推進する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 訓練および講習会への参加を通じて、災害時の初動対応や避難行動に対する理解が高まり、地域における助け合い体制の強化や防災コミュニティの活性化につながる。また、防犯に関する意識の向上や、見守り体制の強化が図られることで、犯罪の未然防止や地域の安全性向上につながる。	